

**二度とない人生だから、今を本気で生きる
困難な時ほど、自分がやるという覚悟を決めて
一步前へ**

はじめの一步

青年会議所への入会を勧められた当初の私は、仕事のことにはしか目を向けておらず、「余裕がありません。」「団体活動は苦手です。」などと頑なに入会を拒んでいましたが、一人の先輩が一年近くも時間をかけて熱心に誘っていただいたおかげで、今の私がいます。

L O Mの委員長に初めて選ばれた年、最初は苦戦しながらも、途中から委員会メンバーの協力が得られるようになり委員会がまとまり始めたときの喜びは今でも決して忘れることができません。また、2004年に福岡ブロック協議会のアカデミー委員長を受けさせていただいたことが、私にとっての大きな転機となり、翌年にL O Mの理事長という大役を受けさせていただきました。本気で生きる人との出会いが私に気づきを与え、そしてまた一步前へ出ようとする私が今ここにいます。

J Cは地域の夢を語り、その夢を現実に変えていく団体です。大きな夢を語るには、メンバー一人ひとりが井の中の蛙ではなく、大海を知ろうとする蛙でなければなりません。私達は「今」に感謝し、情熱を誰のために何のために注ぐべきか真剣に考え、一步を踏み出す勇気を持ちましょう。

J C Iとして一步前へ

1944年、戦時中に各国の青年会議所がメキシコ・シティーの地に集い、国際問題を前提とし、「権力を持った国家同士では解決できないことも、利害関係のない青年同士であれば解決できる」という精神のもと、J C Iの組織が設立されました。日本では、戦後の復興と再建を趣旨として東京で青年会議所の灯がともされ、その後1951年2月に日本青年会議所が設立されました。その年の5月にはJ C Iに加盟し、国際的な大会が日本でも開催されるようになり、2004年に(社)福岡青年会議所主管で開催されたJ C I世界会議福岡大会では、日本J Cと九州地区及び福岡ブロック協議会が連携し、世界各国のメンバーと感動を共有でき大成功で幕を閉じました。私達はこの経験をもとに、世界平和の実現に向けて更に努力しなければいけません。

日本には本来、お互いに譲り合いお互いに助け合うという道德の考え方があります。相互理解に基づくO M O I Y A R Iの心が、世界で繰り広げられている「対立」を「対

話」に導くことができ、世界平和への一歩が踏み出せると信じています。特に九州、福岡は、日本と海外との文化交流の拠点として栄えてきた歴史があり、これからのアジア全体の発展を考えた場合、無限の可能性を秘めると共に重要な役割を担っています。世界18万人のスケールメリットを生かし、世界を平和に導くための架け橋を私たち「JA Y C E E」が決して諦めることなく、率先して築いていくことが最大の使命であると確信しています。

子ども達と共に一歩前へ

1997年、九州地区協議会主催のグローバル・トレーニング・スクールという海外事業に参加し、タイ王国の農村部に日本の学生と一緒にホームステイする機会に恵まれました。そこで体験したことは、「共に生きる」ということでした。日本と比べ、物質的には決して豊かではないものの互いに相手を信じ、助け合いながら心豊かに生きる人々の姿は、私自身初めて見る光景でそれまでは想像すらできなかったものでした。

日本の場合、物質的に豊かになった反面、心の豊かさをどこかに置き忘れてしまった様な気がします。その影響で人の倫理観が崩れ始め、多くの事件に被害者または加害者として子ども達が関わっています。子ども達自身が昔と比べて何か特別変わったように騒がれていますが、むしろ家庭・学校・地域において教育を担う大人自身の変化に、大きな要因があるのではないのでしょうか。

この現状を打破するために私たちは、「JA Y C E E」としてまた子どもを持つ親の世代として、この問題に真正面から取り組む必要があります。福岡ブロック内21LOMの連携を通じて心の豊かさを見失うことなく、子ども達と共に明るい豊かな家庭・学校・地域を創造できる様、共に学ぶ姿勢を大切に協働運動に取り組んでいきます。

魅力ある人として一歩前へ

「JC」運動の原点は「ひとづくり」「まちづくり」であります。人はまちをつくり、まちは文化を育み、文化は人を育てます。魅力あるまちを目指すには、そこに住む人が魅力ある人でなければなりません。魅力ある人とは、志を高く持ち本気で行動する人、目標に向けて絶え間ない努力をし、今を本気で生きる人だと考えます。

人は成長する時、必ず自分を取り囲む様々な殻を打ち破らなければならない場面に直面します。自らの殻を脱し次なる域に達しようとする時、そのきっかけとなるのが「人との出会い」ではないのでしょうか。人との出会いを転機とし、自らの殻を脱するのを感じたとき、その人から多くのことを学びます。「JC」はエリートを育てるのではなくリーダーを育てる団体として、自己成長のきっかけとなる出会いがあらゆるところにあります。2004年、アカデミーの委員長を受けさせていただいた際には、出向してくれたメンバーにとって最高の一年にしなければとプレッシャーを感じながらも、逆にメンバー達の頑張りに私自身が感動し、閉校式の時にはとめどなく涙が溢れました。人は大きな感動を受けたとき、言葉では表現できない成長を遂げるものだと実感しました。

第25期福岡ブロックアカデミーにおいては、次代を担うリーダーを育成するために過去の経験を発展させ、メンバーが感動を共有し各自の殻を破るような事業を運営していきます。

福岡ブロック協議会では、このような大切な出会いの場を設けると共に、メンバー各自がJCで培ったものを活用しLOMのリーダーとして、またそれぞれの家庭や職場、そして地域の人たちから更に信頼されるような魅力あるひとづくりを進めていきます。

ブロック協議会として一步前へ

変化する時代の流れの中で、JC運動もプロセス中心の考え方から結果まで含めた議論を重視し、地域に形として反映させていく場面も多くなってきています。ここ数年、日本JCの協働運動として全国的に取り組んできた首長選挙におけるローカル・マニフェストの普及推進、及び公開討論会の開催については、ブロック内においても数多くの成果をあげています。今後は選挙後の検証のあり方についても議論を重ね、情報交換を活発にし、公開討論会そのものの精度を更にあげていく必要があると考えます。また、災害ボランティアの分野においても、行動力・判断力そして組織力とあらゆる観点からJCが地域に必要とされています。愛する地域とそこに住む人々のために、率先して行動することを約束します。

これからは行政機関だけではなく、企業やNPOとの連携がなければ解決できない場面が更に多くなると予想されます。今後も会員会議所会議を情報交換の場として最大限有効活用しながら県行政・各種団体との情報交換及び連携を発展させていきます。また、九州地区協議会及び九州地区内他のブロックとの連携を強め、日本青年会議所が推進する市民意識変革運動に本気で関わることが福岡ブロック21LOMの更なる発展につながると確信し、LOM支援センターとしての役割を務めていきます。

一番大切なあなたの一步

今あなた自身が生活の中で、きつくつらいと感じることがあるならば、それはきっとあなたが人生の坂道を一所懸命登っている証です。もしあなたが何か迷った時に一步を踏み出せないまま人生を送るくらいなら、失敗しても笑われてもいいから青年らしく堂々と正しい視点で一步を踏み出す勇気を持とう。その一步であなたの人生は変わると信じて。

誰にも決められない あなた自身の一步